



## 地下鉄短信 (第540号) 令和4年12月14日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 佐々木雅多加

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○ 「令和4年度地下鉄事業現地見学会」 の開催

○ 「令和4年度地下鉄事業現地見学会」 を開催しました。

去る、12月13日(火)に、「令和4年度地下鉄事業現地見学会」(以下、「現地見学会」という。)を普通会员及び賛助会員(15社局)28名を含む33名の参加を得て開催しました。

現地見学会は、地下鉄事業者等のご協力の下に、会員各位の啓発の場として、また会員相互の交流の場として、平成11年度から毎年実施してきたものです。2019年(令和元年)の『神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)新綱島駅建設工事等』の見学以来、新型コロナの影響で、2年間中止しておりましたが、今般感染予防を徹底することにより3年ぶりに開催することとしました。

今回の見学会は、「東武鉄道伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業」(以下、「とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業」という。)に伴う鉄道駅の移設などの大規模改良工事について、東武鉄道株式会社(以下、「東武鉄道」という。)様のご協力により開催したものです。

本事業は、とうきょうスカイツリー駅付近(とうきょうスカイツリー～曳舟間)の約0.9kmの区間について鉄道を高架化し、踏切1ヶ所を除去するとともに、とうきょうスカイツリー駅も、東側(曳舟側)に約150メートル移設するもので、これにより道路と鉄道それぞれの安全性向上及び交通流動のボトルネットワークの解消を図るとともに、これまで鉄道により隔てられていた南北の市街地の行き来が容易になるなど、まちが一体化され、安全性、快適性が向上するものです。

当日は、朝方からの雨も午後にはすっかり上がり、見学会としては小春日和の最適な天候となりました。見学会では、まず、東武鉄道様の会議室において、東武鉄道改良工事部課長 小島弘行氏から「とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業」の概要について、説明があり、続いて、改良工事部課長補佐 二木邦明氏から事業PRビデオ上映による説明を受けました。

その後、現場見学に入り、まず、見学ルートに沿って、下り線の2次仮線の敷設状況及び高架化された上り線の状況の説明を受けた後、工事区間の全景が見渡せるイーストタワー12階に移動し、事業範囲全体を俯瞰しながら、現在の進捗状況について見学しました。

その後、高架化され、先月11月27日に供用開始された上り線



小島課長による概要説明風景



事業範囲全体俯瞰  
(イーストタワー12階より)

及び移設が完了した東京スカイツリー駅新上りホームを見学し、続いて下り線既存駅舎の高架下施工状況を見学した後、会議室に戻り、質疑応答を行いました。

今回の高架化区間の見学によって、京成押上線、東京メトロ半蔵門線等との交差箇所が錯綜している箇所におけるその路線との近接協議が難しかったことや、上り線の高架化やホームの移設は既設ホームの受け替え工事など難工事を解決しながら可能となっていたことなどを認識した次第です。

また、質疑応答において、工期、工事費の内容など、連続立体交差事業の制度的な観点からの質問もでるなど、今回の見学会は会員社局にとりいろいろな面から関心を集めたものであったと考えます。

このように、本線の高架化のみならず、駅の移設、入出庫線及び留置線の高架線への切り替えも含む大規模改良工事が進む貴重な現場を見学できたことは、会員事業者の皆様にとって非常に有意義であり、今後の技術の向上に役立てていただけるものと期待いたします。

最後に、業務多忙な中、このような大規模な工事を見学できたことは、東武鉄道の皆様のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。



高架下施工状況見学風景

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: [sasaki@jametro.or.jp](mailto:sasaki@jametro.or.jp)